

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

人事評価もRPAにお任せ



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 半期に1回、部下の人事評価を行っているのですが、考えなきゃいけないことが想像以上に多くて、全く進んでいないんです。

私自身の仕事もあるのに

人を評価することは非常に難しいですよ。

② そうなんです。評価項目は各人の売上はもちろんですが、勤怠、貢献度など多岐に渡っているんです。それらをひとつひとつ、突き合わせてランク付けを行うのですが、悩ましい。

それらをひとまとまりにすると効率的になりそうですね。

本当はみんなにA評価をつけたいけど

③ AIを活用し、業務を効率化・自動化するRPA◇をご存知ですか。RPAを活用することで、勤怠や売上などの様々なデータをあっという間に一つにまとめることが可能となります。評価者は一つのグラフを見るだけで最終的な評価が行えるようになるので、評価者の負担が減るのではないのでしょうか。

導入には、助成金も活用しましょう

そんなことができるの？

④ RPAを導入したところ、RPAは様々な評価項目をそれぞれのシステムから抽出し、見やすいグラフにまとめることまで自動でやってくれることから、適切に、そしてスムーズに部下の人事評価を行えるようになりました。

RPAにより、人事評価も簡単に！精神的ストレスからも解放！

客観的に評価される！

◇：「Robotic Process Automation」の略。設定した処理内容（シナリオ）に従って定型業務を自動処理し、業務生産性を高める仕組みのこと。

取組事例紹介

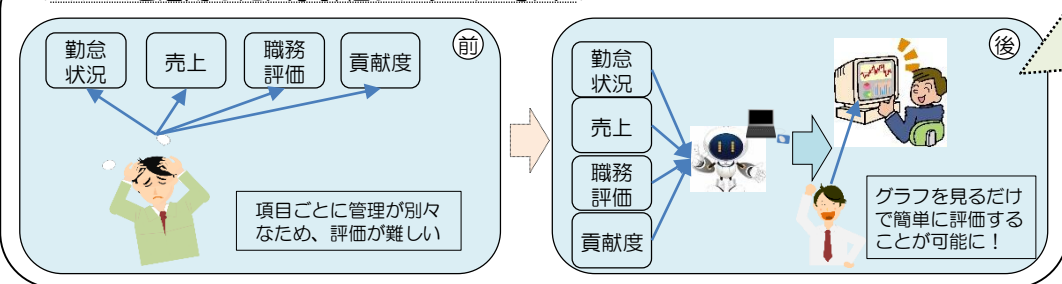
※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：80名

従業員の評価を行う際、その従業員の勤怠状況・売上・職務評価及び貢献度など様々な評価項目があり、また、それぞれが別の記録や帳簿で管理されていた。評価者はそれぞれの記録を突き合わせて各人の評価を行う必要があり、評価者の業務負担となっていた。

<RPAを活用した人事評価システムの導入>



【人事評価システム導入費用を助成】

- 時間外労働等改善助成金（時間外労働上限設定コース）
- 助成率上限 80%
- 助成額上限 200万円

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・RPAは様々な評価項目をひとつのグラフに分かりやすくまとめてくれることから、評価者はそのグラフを見るだけで、従業員の評価が行えるようになった。
- その結果、評価者（管理監督者ではない）の労働時間が削減されたことにより、36協定の上限を引き下げた※。
- ・RPAで作成したグラフは機械的に抽出されたものであることから、基準が明確になり、適正な評価につながった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com